



優秀な取組について

平成 28 年度の内部環境監査において挙げられた優秀な取組について、詳細を紹介します。みなさんの職場においても、アイデアを出し合い、環境に配慮した取組を行っていただきますようお願いします。

優秀な取組一覧	内容
農政課	有機栽培の推進 環境に配慮した農業経営を推進するため、有機栽培に取り組む農業生産者への支援を行っている。
建築指導課	工事関係ではなく、委託契約の仕様書に、調布市の環境マネジメントシステムの説明が項目立てされているとともに、これを遵守事項として明記した。
文化振興課	所管施設である文化会館たづくりにおいて、誘導灯をLED照明に変更し、省エネルギー化を図った。
	所管施設である文化会館たづくりのアトリウム内にある生植物を撤去し、人工植栽に変更する事で空調動力分の電力等を削減した。
選挙管理委員会事務局	投票用紙のリサイクル処分
	期日前投票所における記載台の照明のLED化

各職場の取組

～農政課（有機栽培の推進）～

より多くの市内農業者が、新鮮で良質な農産物を供給し、環境保全型農業を実施できるよう、希望する市内農業者に対し、東京都の農業改良普及員から推奨された優良たい肥（有機質肥料）を配布しています。



～建築指導課（委託仕様書に環境配慮を依頼する文言を記載）～

調布市耐震改修促進計画業務委託仕様書の中で、環境マネジメントシステムの運用への協力や、環境配慮物品を使用・納入すること、環境法規制の遵守を求めています。

～文化振興課（文化会館たづくりの省エネ改修（平成27年度実施））～

①これまであった誘導灯約330個のライトをLEDに変更し、約6万kWhの節電効果が得られました。



②アトリウムに設置していた植栽を、人工樹木に変更したことにより、植栽の生育条件を満たす目的で運転していた空調機の運転を停止しました。これにより、年間約6万3千kWhの節電効果が得られました。

③氷蓄熱1次ポンプをインバータ化し、必要最小限の回転数に抑えることにより、年間約3万5千kWhの節電効果が得られました。

～選挙管理委員会事務局（投票に係る環境配慮）～

①投票用紙は特殊な素材で作製されているため、通常の紙と同様のリサイクルを行うことが出来ません。以前は焼却処分していましたが、調布市では、平成23年度から、都内区部と合同で、投票用紙のリサイクルを行ない、環境に配慮した取組を行っています。回収された投票用紙は、クリアファイルなどのプラスチック製品にリサイクルされています。なお、平成28年度の処分量は67万9千票（約679kg）でした。



②平成28年に実施された東京都知事選挙の期日前投票から、宣誓書記載台の照明を、これまでの白熱電球からLED電球に変更し、節電に取り組んでいます。